

【地震発生時の初動対応】

時間の経過と行動

状況	個人・家庭の行動（自助）	自主防災活動（共助）	行政の支援（公助）
	<ul style="list-style-type: none"> ・揺れに注意し、身を守る ・玄関を開けて逃げ道を確保 		
揺れがおさまったら	<ul style="list-style-type: none"> ・火の始末（ガスの元栓を占める） ・火が出ても、落ち着いて消火 ・家族の安全を確認 ・無事→黄色いハンカチを掲げる（土砂災害の恐れがある場合は避難） 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所に声をかける ・近所で火はでていないか 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・隣近所に声をかける → → → → ・隣近所で助け合い 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオやテレビ等で震度、震源、被害状況の情報を収集 	<ul style="list-style-type: none"> （各組） ・行方不明者や負傷者の確認 ・避難行動要支援者の確認（自治会） ・震度5強以上のとき、自治会館に「本部」を設置 ・地域の被害状況の調査を開始 ※組長を通じて状況把握 ・地域避難所の開設準備 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなで消火 → → → 初期消火（無理をしない） 自主防災組織による活動が重要） ・みんなで救出 → → → 二次災害に注意 （対応困難な場合は応援求める） 救護 → → → 応急手当、命に関わる場合は病院等に搬送 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・消火班による初期消火活動 ※消防署に消防車の出動要請 ・救出救護班による救出活動 ※消防署に救急車の出動要請 ・負傷者の応急救護、救護所への搬送 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防車による消火活動 ・救急車による搬送
避難	<ul style="list-style-type: none"> （避難の必要が生じた場合） ・電気のブレーカーを切る ・最低限の持ち出し用品を携行 		
	<ul style="list-style-type: none"> ・避難行動要支援者の避難を助ける（各組、自治会） 		
避難生活	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織を中心に行動 ・避難所運営に協力 ・避難所ルールを守る 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の運営（食料、物資の分配） ・在宅被災者への支援（メモ）物資は取にきてもらう。周知方法は？ ・災害ボランティアの受け入れ、連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・救援物資の支援 ・災害ボランティアの派遣